

(案)

公開シンポジウム「ヒト受精卵や配偶子のゲノム編集を考える」の
開催について

1. 主 催：日本学術会議医学・医療領域におけるゲノム編集技術のあり方検討委員会

2. 共 催：（関連学会などを予定）

3. 後 援：（関連学会などを予定）

4. 日 時：平成29年5月 日（ ） 13：00～17：00

5. 場 所：日本学術会議講堂（予定）

6. 分科会の開催：開催予定

7. 開催趣旨：

医学・医療分野において、先端遺伝子改変技術、ゲノム編集の利用が進んでいる。現在、ゲノム編集を用いた生殖医療応用は倫理的観点から容認されないとする見解があるが、ゲノム編集を使うヒト胚や配偶子の基礎研究についてはさまざまな目的で想定しうる。しかし、中国からヒト受精卵ゲノム編集の基礎研究が論文報告された際、世界的な懸念を起したことをふまえると、この基礎研究について生物医学的、倫理的、社会的、法的観点で慎重に検討しなければならない。ヒト生殖細胞系列ゲノム編集の生命倫理について一般の人々との対話をもち、我が国における本研究の在り方を考える。

8. 次 第：

13：00 開会あいさつ 五十嵐隆委員長

13：10～15：00 背景情報、論点の提供（1人10分、質疑5分）

本セッションの男女比はほぼ均等になるように考慮する。

科学的側面 1人

医療的側面 1人

倫理社会的側面 1人

法的側面 1人

一般代表あるいはメディア関係者 2～3人

15:00～15:10 休憩

15:10～15:40 模擬討論

コーディネーター進行の下、模擬の推進派2名と反対派2名がヒト生殖細胞系列ゲノム編集について討論（各派：男性1人、女性1人）。模擬討議者は情報提供者が兼ねることもありえる。

15:40～16:30 質疑応答

コーディネーター進行の下、会場の、特に一般の人から医学・医療領域におけるゲノム編集技術のあり方について意見をお聞きする。回答者は主に情報提供者。

16:30～16:40 閉会のあいさつ 石川冬木副委員長